

～ 第6次留萌市総合計画意見交換会 ～

【開催概要】

- 平成28年7月22日（金） 11:05～11:55
- 新星マリン会議室

【出席者】

- 漁協：布施専務理事
- 委員：伊端座長、大館副座長
- 市：佐々木政策調整課主幹、江川政策調整課主査

【資料】

第6次総合計画市民会議(案)たたき台及びパワーポイント印刷資料

【内容】

- ① 座長挨拶
- ② 市民会議案説明
- ③ 意見交換
 - 留萌港への道路アクセスの問題がある。現状1か所しか大型車が通行できない。JR増毛線の廃線に伴い、整備を希望している。
 - 市場の建て替え問題も抱えている。
 - 担い手確保も課題。漁業就業者フェアにも参加しているが集まらない。補助制度等があるが、漁師で1本立ちするには長期間要する。住宅支援などやっていかなければ、難しい。
 - 雇用主も通年で漁が無いため、研修の受入ができない。冬期間の雇用体制の確保が必要になるが、漁業だけでは難しい。
 - 担い手として育成、漁師となるのであれば、船などの資材も引き継ぐと思われる。新品の初期投資は、必要無い物もある。
 - 留萌の場合、ホタテ稚貝と異なり、パート的な人材の不足にはなっていない。
 - 漁師の数が少ない現状から、漁場調整などの問題も発生しない。
 - 留萌でのホタテ養殖を検討している。設備投資が必要となるが、臼谷と同じようにとはならない。養殖の場合初期投資を即回収するには時間がかかる。効果もなかなか現れないので、取り組みが進まない。
 - ナマコ、ウニ、アワビなど磯焼けによる影響で獲れない。対策が必要。
 - 水産業の振興は継続性が必要で、効果を上げるには時間がかかる。
 - 担い手は、漁家の継承で続けている程度で、新規に漁師になりたいという人がいない。稼げる漁業でなければ、担い手は現れない。
 - 底引き漁があった時までは賑わいがあったが、それ以降衰退。
 - ナマコの窃盗（密漁ではなく）が発生した。（ナマコの泥吐きのため一時、港内に一時蓄養）防犯カメラの設置を要望したい。